



金子晴勇 [著] (ヨーロッパ思想史) [全6巻] 各巻・新書判・平均300頁・1,540円(税込)



ヨベル新書 103

キリスト教思想史の例話集II

命題集

『キリスト教思想史の諸時代』の続編、第2弾!

2025年1月30日刊行予定

命題集とは思想家の中心思想を短い言葉で証言したものである。

神学的な命題集はペトルス・ロンバルドゥスの大冊が有名である。中世と宗教改革の時代までその命題集が神学の重要な仕事として行われてきました。近代以後はその伝統は継続されませんでした。ですから古代から宗教改革までは自己の思想を命題として表明することが行われていたと言えましょう。そこでわたしたちはこのようなキリスト教思想史の特徴を命題集の形で蒐集することで、学ぶことができるシリーズ第2弾! (本書より)

主な目次(詳細目次は省く)

- 序論
- 第一部 人間学的命題集
 - I 人間とは何か一人間の定義をめぐって
 - II 自己認識と神の認識
 - III 人間学の三分法——霊性・理性・感性
 - IV 「神の像」と「人間の尊厳」
 - V 良心概念5
 - VI 人間と人格の区別
 - VII 自由と自由意志
 - VIII 人格共同体

- III 罪とその救い
- IV 信仰と認識
- V 義認論——宣義と成義
- VI 義認と聖化
- VII 予定説
- VIII 愛の類型
- IX 生と死——キリスト教的死生観
- あとがき

全6巻構成(赤字既刊)

- I 物語集 [第1回配本]
- II 命題集 [第2回配本]
- III 「共生」の神秘 [第3回配本]
- IV 愛のかたち [第4回配本]
- V 試練の物語 [第5回配本]
- VI 霊性の輝き [第6回配本]

第二部 神学的命題集

- I 創造思想
- II 契約思想

著者紹介 金子晴勇(かねこ・はるお) 1932年静岡生まれ。1962年京都大学大学院博士課程中退。立教大学助教授、1975年『ルターの人間学』(東京大学出版会)で京大文学博士、76年同書で日本学士院賞受賞。岡山大学教授、静岡大学教授、聖学院大学客員教授。

主な著書:『ルターの人間学』、『アウグスティヌスの人間学』、『ヨーロッパ人間学の歴史』、『エラスムスの人間学』、『アウグスティヌスの知恵』、『キリスト教人間学』、『私たちの信仰』、『ヨーロッパ思想史』、『東西の霊性思想』、『キリスト教思想史の諸時代』(全7巻別巻2完結)、『「良心」の天路歷程』ほか多数 主な訳書:アウグスティヌス著作集第9巻、ルター『生と死の講話』、ルター『神学討論集』、エラスムス『格言選集』、エラスムス『神学著作集』、コックレン『キリスト教と古典文化』、エラスムス『対話集』、ほか多数



YOBEL, Inc.

新書判・336頁・定価1,540円(税込)
定価1,400円(税別) ISBN978-4-911054-28-4 C0216